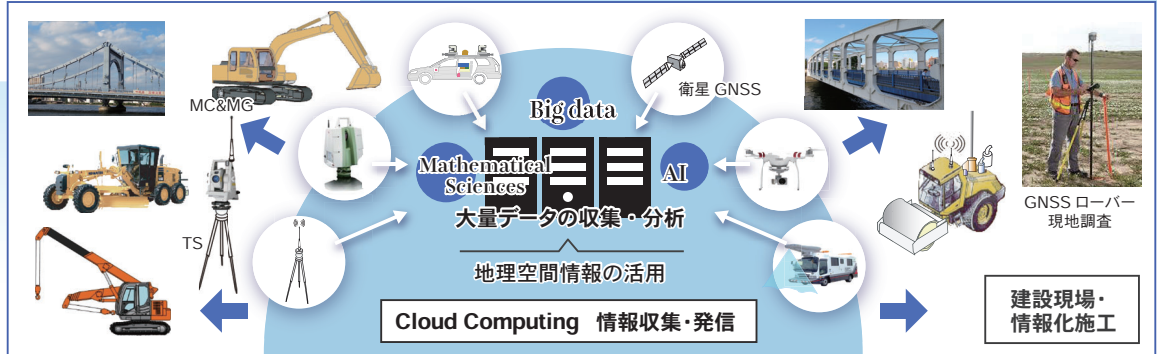


フォーラムエイトの インフラデジタルデータベースシステム

インフラデジタルデータベースシステムとは ▶▶▶

GNSS、航空レーザーなどにより大量に収集された情報を、クラウド上で収集・分析。

設計・施工・維持管理まで幅広い領域で活用可能な、DX時代に必須のデータベースシステム。



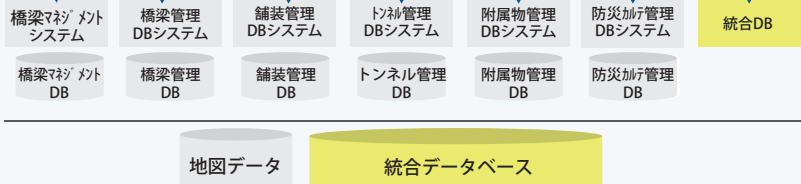
多様な用途に応じて、必要なデータベースを柔軟に組み合わせることでソリューションを提供

- ・橋梁点検
- ・橋梁マネジメント
- ・路面性状調査
- ・舗装管理
- ・道路トンネル定期点検
- ・道路防災総点検
- ・道路附属物点検
- ・道路施設管理

インフラデジタルデータベースシステム

道路管理データベースシステムトップメニュー（道路管理ポータルサイト）

データベース検索インターフェース



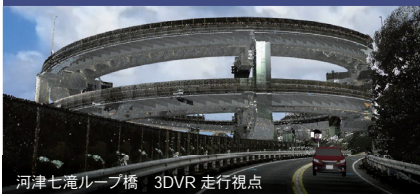
インフラデジタルデータベース：道路関連業務において、検索インターフェース上で個別システムまたは各種データを相互に関連付けて利用可能なシステム。登録・検索・表示・印刷出力等に対応。

フォーラムエイトのUC-win/Roadなら！

3DVRデジタルプラットフォームと連携してDX推進を強力にサポート

事例1 高精度点群データ（G空間情報センター）

航空レーザー測量(LP)データと移動計測車両により取得されたデータをUC-win/Roadにインポート※



河津七滝ループ橋 3DVR 走行視点

※地形と航空写真は電子国土Webのデータを活用

事例2 高精度点群データ（3DDB Viewer）

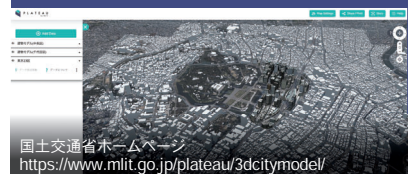
UC-win/Road にサーフェスモデルを読み込み、歩行者表現を実施※



UC-win/Roadでのサーフェスモデル

事例3 大規模都市データ基盤（CityGML）

建物・街路・橋梁などがGISデータと連携。形状・名称・種類・建築年等の情報を属性として定義した、国交省が進める大規模都市データ基盤



国土交通省ホームページ
<https://www.mlit.go.jp/plateau/3dcitymodel/>